(19)日本四格許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報(1)

(11) 英用新索出國公開各号

実開平7-5515

					(43)公開日	(43)公開日 平成7年(1995)1月27日
(51)Int.Cl.		629月記号	宁内整理器号	FI		技術表示箇所
A45D	42/00	ដ	2119-3B			
	42/04		2119-3B			
A47G	1/00	Q	3× − 8069			
F21L	11/00	œ	8815-3K			

(71)出國人 380033842 關學工學核式会社	東京都北区昭和町3丁月1番2号 (7:) 李紫岩 岡本 晋介 東京都北区昭和町3丁目1番2号	
集即平5-47063	平成6年(1953)8月30日	
(21)出版路号	(22) 州城田	

審査請求 未請求 請求項の数1 春面 (全 2 頁)

(54) 【4年版の名称】 戦権用限関づ名観

(57) 【斑粒】

(目 的) 従来の携着用値は明るい場所でしか使用できなかった。したかって不便だった。それを、照明をつける事により、明い場所でも使用できるので便利であるいる。

成] 携帯用鏡の台座の部分に照明及び電源装 間を取り付けた。

4) 24/2

3

英閒平7~5515

【奥用新案登録構求の範囲】

(職状項1) 数 (1) に, 対物をてちすための照明シンプ (2) と, 光をうまく対物に当てる様な反対数 (3)と、乾悶剤 (4)とスイッチ (5)を装着した装井用照明ランプのき稿。

【図面の簡単な説明】

(⊠ ⊠

3は反射観 5はスイッチ 2はランプ 4は乾燥剤 **13**

[図 1] 本考案の使用状態の時の斜視図である。 [図 2] 本考案の折りたたんだ時の斜視図である。 [符号の説明]

(⊠2)

-3) 反映盘

[手規補正备]

【提出日】平成6年2月17日 【手規補正1】

(補正方法)変更 (補正内容) (考案の名称) 携帯用照明つき**は**

【補正対象書類名】明細書 【補正対象項目名】 考案の名称

実開平7-5515

ල

英閒平7-5515

€

[考案の詳細な説明]

[000]

[産業上の利用分野]

この考案は似に、対物を照らすための照明ランプをつけた。 携帯用照明ランプ

付録に関するものである。

[0002]

[従来の技術]

従来の携帯用貸は対物を照らすための照明ランプは付いて無い。

[0003]

[考案が解決しようとする限題]

これは次のような次点があった。

映画館や劇場では、感動したりして出る張のため化粧直しが必要になるが、暗いので今までの携帯用鏡では対物を明確に見ることができなかった。

さらに、コンタクトレンズの修正は不便であった。

本事案は、これらの欠点を除くためなされたものである。

[0004]

[原題を解決するための手段]

段(1) に対物を照らすための照明ランプ(2) とランプの光を効率よく対物に当たる様な反射的(3) とランプを作動させるための乾肌治(4) と、それをON/OFするスイッチ(5)を装着する。

本事案は以上のような構成よりなる携帯用照明ランプ付銭である。

[0005]

(作 用)

スイッチ (5)をONすると, 照明ランプ (2) が点燈し, 反射鏡 (3) により対物を効率よく照らし, 鏡 (1) に対物が写る。

[0000]

[英雄例]

、以下本概の政権例について説明する。

仅(1)に対物を照らすための照明ランプ(2)とランプの光りを効率よく対物

に当たる様な反射鏡(3)とランプを動作させるための乾電池(4)と,それを

ON/OFするスイッチ(5)を被替する。

本葉は以上のような構造で、これを使用するときは、スイッチ(5)をONすると照明ランプ(2)が光る。この光は反射観(3)で対物を効率よく関らすた

る時でも使用する事ができる。

[0007]

[考案の効果]

本考案は暗い場所でも、照明ランプを利用すると、鋭を使用する事ができるの

で暗い場所での化粧なおし又は、コンタクトレンズの修正に便利である。